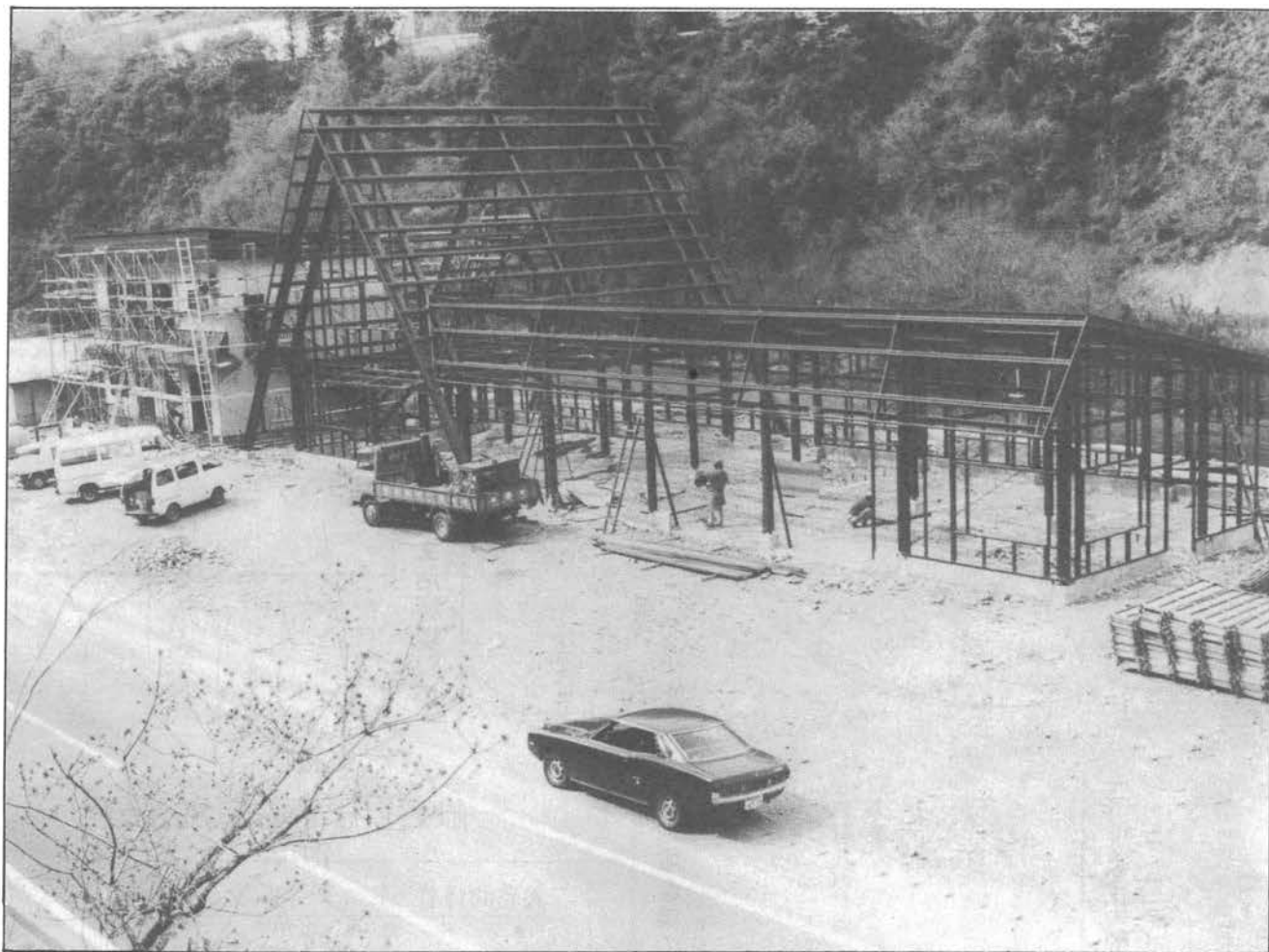


広報 肱川

1984 4 月



No. 13



とじて保存しましょう。

オープンに向けて工事が進む 特産開発センター

肱川の特産品を生かして豊かな町づくりを進める特産開発事業が6月オープン目指して着々と準備が進められています。

特産開発事業の拠点となる肱川特産開発センターが現在、萩野尾地区に建設されていますが、鉄骨組みも出来上がり、6月のオープンに向けて急ピッチで工事が進められています。
(写真は建設中の肱川特産開発センター)

今月号の主な内容

＝町 報＝

- 昭和59年度予算と主な事業 2～3
- 3月定例町議会……………4～8
- 肱川町職員配図図……………11
- お知らせ……………20

＝農林だより＝

- 育苗センター完成……………12
- 今須林業先進地調査報告……………13
- 今月の農作業……………15

＝公民館報＝

- 昭和59年度公民館活動方針……………16
- 大谷村古文書……………18

町民のうごき

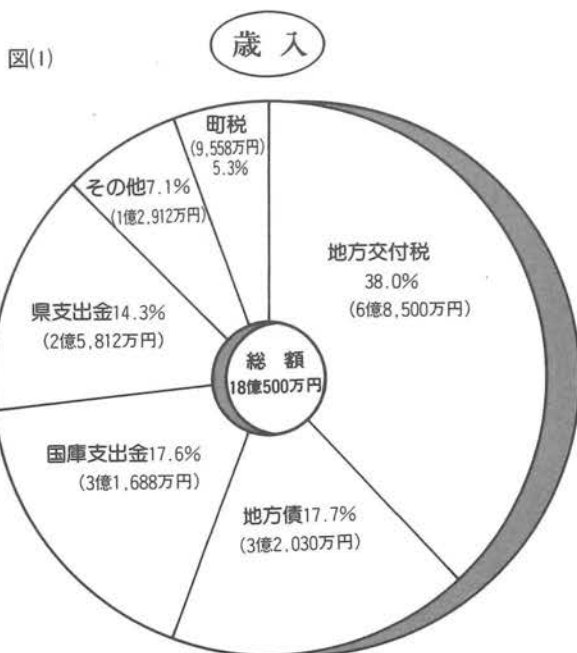
人 口 3,878人 (-13)
男 1,903人 (-6)
女 1,975人 (-7)
世帯数 1,066 帯 (-4)

(昭和59年3月31日現在)

当初予算総額

130万円

の対前年度比14.2%増～

予算編成の
基本的な考え方

町民本位の行政を推進し、均衡のとれた町の進展を図るために、社会経済情勢の変化に即応できる健全な行財政の運営並び

昭和五十九年度肱川町当初予算が、町議会三月定例会で原案どおり可決されました。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は二十二億百三十万円で、前年度に比べ、二億七千五百六十六万円（一四・一％）の増となっています。国においては大幅な収支不均衡を生じ、借金依存体質となっている財政の建て直しが当面、最大の課題であるため、前年度に引き続き超緊縮型の予算となっています。

町においても、こうした国等の影響を受けて、厳しい財政事情にはありますが、生活、生産基盤整備を中心として積極的な予算を編成し、町の活力ある発展を期しております。

主要施策と事業費

に、長期的展望にたったまちづくりの推進を基本姿勢として、積極的に取り組むことにしています。

昭和五十九年度の具体的な施策として、次の五項目をかがげ、それぞれの振興を図ることにしています。

一、町民の生活環境整備

- ◎ 地域改善対策事業
（二億九千二百六十五万円）
- ◎ 町道新設改良、維持補修事業
（二億六百二十八万円）
- ◎ がけくずれ防災事業
（一千四百六十万円）

一般会計予算性質別区分

図(2)

義務的経費 5億3,857万円 (29.8%)

●人件費	3億1,202万円 (17.3%)
●扶助費	1,891万円 (1.0%)
●公債費	2億764万円 (11.5%)

投資的経費 9億5,497万円 (52.9%)

●普通建設事業費	9億4,246万円 (52.2%)
●災害復旧事業費	1,251万円 (0.7%)

その他 3億1,146万円 (17.3%)

●物件費	1億4,548万円 (8.1%)
●補助金	1億1,118万円 (6.2%)
●繰出金	1,984万円 (1.1%)
●その他	3,496万円 (1.9%)

二、地域産業の振興と育成

- ◎ 山村振興・新農構・土地改良事業
（二億五千七百七十二万円）
- ◎ 農、林道新設（地域改善対策）事業
（八千六百万円）
- ◎ 林業振興事業
（八千八十二万円）
- ◎ 商工、観光事業
（一千四百五十三万円）

四、大型プロジェクトの
促進

- ◎ 学校給食
（三千六百四十二万円）
- ◎ 社会教育
（三千六百三万円）
- ◎ 社会体育振興
（五百八十一万円）

三、地域文化の創造と
コミュニティスポーツの振興

- ◎ 学校教育と青少年の健全育成
（六千五十二万円）

五、広報・広聴活動の充実

- ◎ 広報・広聴活動
（九十七万円）

表(1)

主な事業と予算

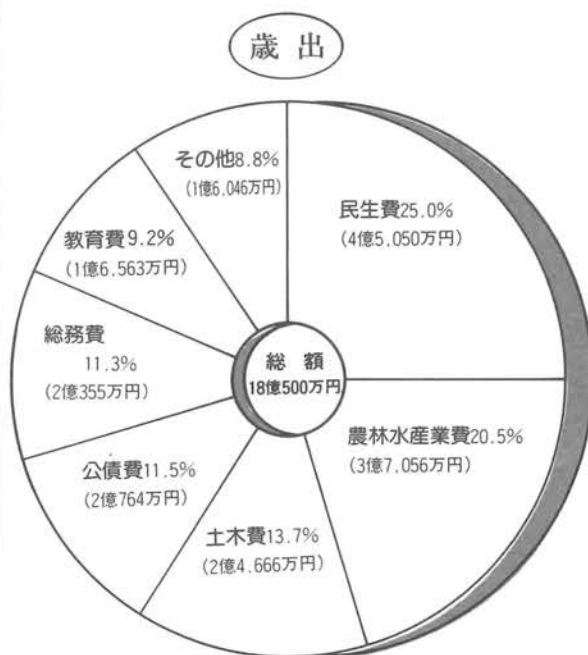
(単位：千円)

部門	主 な 事 業	予算額	部門	主 な 事 業	予算額
総務	大洲農校創立60周年記念事業	1,200	新林構事業	新林構事業	36,814
	広報・広聴活動	8,555		地域改善事業(林道)	20,000
	企画・立案	4,087	商工	商工振興	4,921
	特産開発事業推進	16,210		観 光	9,611
	防犯・交通安全対策	1,610	道路維持	道路維持	19,908
	地域振興事業	1,787		道路新設改良・舗装	186,372
	選挙(農委・町長)	2,083	がけくずれ防災工事	がけくずれ防災工事	14,600
民生	民生委員活動	1,850		住宅管理	4,497
	戦没者追悼式	580	非常備消防	非常備消防	13,669
	重度心身障害者医療	2,400		常備消防	30,989
	老人保健特別会計繰出	8,261	消防施設整備	消防施設整備	6,061
	児童・母子・老人福祉	20,258		教育委員会活動	1,965
	地域改善対策	396,818	学校営繕	学校営繕	7,000
				青少年健全育成	635
衛生	零歳児医療	1,440	定時制高校振興	定時制高校振興	1,290
	簡易水道特別会計繰出	7,938		小・中学校	23,874
	疾病予防対策	7,069	幼稚園	幼稚園	22,465
	歯科診療所	2,142		学校給食センター	36,424
	葬祭施設管理	3,324	公民館活動	公民館活動	11,263
	し尿・じん芥処理	13,682		文化財保護	1,080
			歴史民俗資料館	歴史民俗資料館	4,220
農林水産業	農業委員会活動	6,147		社会体育振興	3,216
	農業振興費	18,558	町民プール管理	町民プール管理	2,592
	山振・新農構事業	97,074		公共土木施設災害復旧	12,482
	土地改良	54,645	公債費	公債費	207,635
	地域改善事業(農道)	66,000			
	林業振興費	30,148			
	林産集落振興事業	8,045			

昭和59年度

22億

～一般会計



表(2)

特別会計予算

国民健康保険特別会計	2億460万円
簡易水道特別会計	2,700万円
老人保健特別会計	1億6,180万円
住宅新築資金等貸付特別会計	2,900万円
計	3億9,630万円

【歳出】
例年であれば、農林水産業費、土木費がトップとなると考えますが、今年度は、地域改善対策で大型事業が見込まれた民生費が全予算の四分の一に当たる二五%を占めトップになりました。しかし、農林水産業費二〇・五%、土木費一三・七%と主流はや

一般会計予算の内容を目的別・性質別に表したのが図(1)及び図(2)です。

投資的経費に
五二・九%

以上が主要な施策と事業費の概要です。なお詳しくは、表(1)をご覧ください。

◎部落との連携い充実
(七百五十九万円)

国民1人当たり

～一般会計～

(59.3.31現在)

人口 3,878人

町 税 24,646円

歳出額 465,446円

は、農林業の振興、生活環境整備となっています。ちなみに、図(2)の性質を見てみると建設事業である投資的経費が他を圧倒して、五二・九%を占め九億五千余万円を計上しています。

予算は、町行政の設計書といわれておりますように、その内容を見ていくと、今年度の町の考え方がわかると思います。

【歳入】
歳入の裏づけとなる収入は、国から交付される地方交付税(三八%)、国・県支出金(三一・九%)、借入金(町債一七・七%)が主なもので、町内で集められる税金等は二・四%(うち町税五二%九千五百五十八万円)となっています。

このように自主財源が少なく財源の大部分を国や県に依存しなければならぬ弱い体質となっていますので、行財政運営にあたっては常に国等の動向を的確にとらえ、健全な運営に努力する必要があります。

特産開発事業で

豊かな町づくりを推進

三月定例町議会

肱川町議会三月定例会は、三月十二日に招集され、会期を四日間と定めて、町長発議の二十七議案を原案どおり可決し、議長発議の二議案を、それぞれ採択して閉会いたしました。

なお、新年度にのぞむ町長の所信表明をはじめ、議員からの一般質問及び議決した議案の概要は、次のとおりです。

町長の所信表明

生活を守る諸施策と
創造性豊かな
人づくりを推進

五十九年度は私の任期二期目の最終年度に当たりますので、私に課せられている使命とその責任の重大さを十分に認識いたしまして、町政を推進していきたい所存です。

私が五十二年三月十九日町長に就任以来今日までの七年間、



所信を述べる大野町長

議会をはじめ町民各位の暖かいご理解とご協力によりまして、住民福祉・生活環境をよくするための重要施策を順次実施してきました。

これらの事業は、永年の懸案事項になっており、町においては議会と一体となって国県へ強く要望し、事業の採択・予算措置などは大体順調に進ちよくしております。

私はいつも申し上げておりますとおり、豊かな町・明るい町・明るく健康な町・教育と文化のふるさとづくりを念頭において、豊かな自然と生活を守る町づく

り、少しでも仕事をふやす町政、香り高い文化の育つ町づくり、潤いと活力のある町づくり、そして創造性のある自立心旺盛な「肱川人」を育てる人づくりに力を尽していきたい所存です。

町民各位の一層のご協力をお願い申し上げます。

補助事業の導入と

生産基盤の整備を

農林業の現状は依然として厳しい情勢にあります。農業委員会・経済団体・営農林推進会議・農業改良普及所などと連携の協調をはかり、農業及び林業構造改善事業・山村地域特別対策事業を基軸にして、各種の補助事業、融資事業を取り入れ町内各地域の実状に合った対策を講じたいと思っています。

また、大型農道事業の推進、排水対策の試験研究、農用地開発事業の推進に取り組んでいくつもりですが、当面はやはり基盤整備を重視して農林業の振興をはかります。

商工業についても、長い間の

景気低迷からようやく明るい兆しが見えてきたようですが、経営環境は厳しいものがうかがえます。商工会と相はかり従来どおりの考え方で商工業の振展をはかりたいと存じております。

国・県道の改良促進と

生活環境の整備を

建設関係では、国道・県道の改良促進は、日頃関係方面へ働きかけております。しかしながら国家予算の抑制で極めて難しい面もありますが、幸いにして当町の要望はかなり取り入れられて大きく前進するものと確信しております。

また、町道の維持管理並びに整備は、すでに部落・地域から

の要望を取りまとめ、適切に対応していきます。

町営住宅は五十八年をもっていちおう入居希望者の需要を満たしましたのでしばらく様子を見て建設の必要があれば、六十年以降で対処したいと思っています。

グレーダーの運行は作業計画を立て、部落長と連絡をとりながら作業に当たることになります。

簡易水道事業は、きれいな水を能率的に安定して供給することに努めています。新年度から借入金据置き期間が切れて本償還に入るため、公債費が増えますので財源不足分は水道使用料で調整し、健全な運営のために一七・六五％、料金を引き上げることになりました。

観光対策は、資源と既設の施設を生かして、住民の憩いの場・安らぎの場として利用していただくようにしたいと思っています。課題はありますが、長期的な展望で投資を行いながら開発整備を進めたいと思います。

町税は、住民の方が特に関心を持たれておりますし、税そのものが町財政の基本になります。したがって、資料の収集など所得のは握に努め、併せて税務相談業務を行い、公正かつ適正な



3月定例町議会



国道改良工事が進む下石丸地区

課税ができるよう努力いたします。

受診率をアップし 健康教育と 予防医療を強化

住民福祉はすべてのことに通じますが、老人・母子・重度心身障害者のかたがたをまず優先して各種の対策を講じております。民生委員・部落長・社会福祉協議会などのご協力をいただいて、住民総参加の形の中で住みよい地域づくりに努力していく考えです。

地域改善対策には特に意を払い、新たに専任職員を配置して対話と協調の精神をもって教育と事業の推進をもって教育と事業の両面をとらえながら、積極的に諸般の措置を講じたいと考えています。

町民の健康保持増進は、各種

の健康検査や検診をきめ細かく実施することと、受診率を向上させることが成人病対策では必要だと思います。したがって健康となり組の活動並びに健康づくり料理教室などを通じて健康教育・予防医療に努めます。

同和教育と 生涯教育に力点

教育については、当町の教育の目標である「たくましい生命力・豊かな情緒をもつ人間像」の子供を育てる学校教育の環境づくりに努めます。また、文部省の指定を契機として、すべての児童生徒に同和教育に対する正しい理解と問題解決への使命感を育てる同和教育に力を入れてまいります。

少年の非行は全国的に大きな問題になっています。学校・家庭・地域社会の連けいを密にして健全育成に努めます。

社会教育の理念は、男も女も老人も子供も「一生にわたって学び続ける」生涯教育と思っております。したがって公民館を主軸にして各年代・各層に適應した学習の場と機会を作り、住民意識の高揚と連帯意識を高め、ぬくもりのある町づくりを進めたいと思います。

また、文化遺産の保存伝承は継続して努力しますが、新たに町のトップクラスのかたがたに史跡めぐりと学習をしていただ

いて見聞を広める計画をしています。

長期的視野で 総合的な計画を検討

昨年三月の定例町議会において、大洲高校肱川分校跡地利用について五十八年度中に方向づけをしたいと申しましたが、それ以来いろいろ検討してきました。その間に公民館横の宇和島自動車株式会社所有の土地が購入できる新たな事態が起きました。

建物新設する場合は将来の



長期的視野で検討が進む庁舎周辺

維持管理を考慮しなければなりません。できれば役場庁舎・公民館とのつながりを配慮しながら、長期的視野で総合的に判断して計画したいと思っています。

肱川分校跡地については、さしむき住民のレクリエーションや軽スポーツ・地域行事のための

広場として利用していただきたいと思います。

ダム建設は 住民の意見を聞いて

慎重に

河辺ダムについては、現在建設省が地質調査を行っており、その結果をみて対応することにしておりましたが、三月の県議会で「建設促進を決議した」旨の知事発言がありましたので、当町として建設の是非について検討に入っていかなければならないと考えます。

そして関係住民とのかかわりあい、肱川町にとってどうなるのかを関係機関と協議検討の上結論を出したいと思っております。関係住民として肱川町にとって大きな問題ですので誤りのない方向づけをしたいと考えています。

特産開発事業は 全町民の力で

どこの市町村にも大きな悩みがあります。その反面、住民の知恵によって開発可能な住民の

幸せにつながる何かがあると思えます。要はその何かを探り出す知恵と努力があるかないかです。知恵も出さず努力を惜しみ、ここは駄目だ、農林業は駄目だと言っていたのでは絶望感だけが頭にしみ込んで希望がなくなり山村に生きる意欲までもなくな

なってしまう。

これから山村の住民にとって必要なことは「山村である肱川にこそ秘められた大きな未来があ



5月末完成を目指して工事が進む特産開発センター

る」と言う発想の転換であり、このことが肱川町の明日の展望を切り開く大きなカギではないでしょうか。

新しい試みとしての特産開発事業も、このような観点から取り組みまして、いよいよ新年度から船出をしますが、一部の者が努力したぐらいではとうてい成功はいたしません。

肱川町の分身としての位置づけの事業です。議会をはじめ関係機関団体・全町民のご協力をいただき、この事業ができるだけ早く軌道にのり、町民の所得をふやし、利用者に喜んでいただくよう全力を尽します。何とぞよろしくお願いを申し上げます。

予算編成方針

地域改善事業に
大型予算を計上

国の予算は、借金財政からの脱却・財政再建を課題として歳出抑制の緊縮予算が国会で審議されています。しかしながら当町の現状を考えますと、生活・生産基盤の整備が必要です。また活性化にも連がってきますので、経常経費の節減合理化・効率化をはかり、積極予算を編成しました。

一般会計予算は十八億五百万円で対前年度比一四・二％伸びました。特別会計予算は三億九千六百三十万円で、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は二十二億百三十万円となり、前年度と比較すると一四・一％の伸びとなりました。

一般会計の新年度予算では、地域改善対策に大型経費を計上し、地域環境の改善を推進します。次に町債は起債とも呼ばれていますが、実際は町の借金です。起債の種類によって、元利償還金に要する経費について、毎年地方交付税の基準財政需要額に算入してもらうことになっております。昭和五十九年度の起債計画は、災害復旧事業債は返ってくる率が九五％で三百六十万円、辺地対策事業債と地域改善

対策事業費は返ってくる率が八〇％で二億二千三十万円で、過疎対策事業債は返ってくる率が七〇％で九千六百四十万円で、合計して三億二千三十万円となりました。

県へ対しては強く働きかけ、予定どおり許可を受けるよう努力していく考えです。

特別職の報酬並びに各種委員の費用弁償等については、特別職報酬等審議会へ諮問し、答申

一般質問

◎町財政の見通しについて

問 さきの国会において、昭和五十九年度の、地方財政計画の説明があったが、当町における財政の見通しはどうか伺いたい。

答 なお、八幡浜地方局管内における、財政力指数の順位についても併せて伺いたい。

答 現在の段階で、大型プロジェクトを考慮せずに推計いたしますと、経常収支は、八三パーセントから、八六パーセントとなり、極端な硬直化はないものと思っております。

しかし、公債比率は、有利な起債に該当させるよう心がけておりますので、上向きの傾向となり、ピーク時には一六パーセント程度で推移するのではないかと考えられます。

をいただいて、二年ぶりに原則として約五％の額を引き上げることになりました。

財政調整資金積立金は、一般家庭でいう定期預金です。早く一億円の太台にすることが念願でしたが、五十八年度末に一億二千五百万円になりました。

新年度予算では取りあえず一千万円を計上しましたが、年度中に追加して増額できるようにしたいと思っています。

なお、自主財政に乏しいため財政力指数は、〇・一四〇であります。更に若干低下することとも考えられる状態であります。

さて、ご質問のありました地方局管内での、財政力指数の順位についてありますが、町村間の財政の状況を比較するのに用います指数は、種々ありますので、一つの指数だけで判断する訳にはまいりませんが、財政力指数だけで申しますと、当町は、郡内で二番目、地方局管内で四番目に低い状況であります。

◎町営住宅の入居基準について

問 町営住宅が常時満室になっているという事は、一見喜ばしいことのようにあるが、不適格者が入居して、真に住宅を必要とする人々の、障害となっ

ているのではないかとも思われるが、入居基準はどうなっているのか伺いたい。

答 定住促進をはかるため、公営住宅法の目的に添って、低所



8棟16世帯が入居している中野団地

得者への住宅供給を行っておりますが、入居基準につきましては、法で定めておりますとおり入居者の収入基準等、第二種公営住宅の基準に従って、入居許可をいたしております。

なお、ご意見のありましたように、常に余裕をもつて需要に応じられる態勢をとることも大切ですが、見通しのないまま空室にしておくことにも、問題がありますので、よく需要の動向を見極めながら、今後の住宅建設計画を検討してまいりたいと考えております。

◎河辺ダムについて

問 昨年末実施されている地質

調査の結果はどうなっているのか。もしダム建設が決定したとすると、完成後の鹿野川は、あらゆる面で大きな打撃をうけることは必至である。

町長は、どのように対応される考えか伺いたい。

答 本年度の調査結果については、まだ正式に受けておりませんが、さきの県議会において、知事が発言をされておりますので、県としては積極的な考えをもっているものと思われ

す。しかし、発言の内容としては建設省において、昭和五十九年度も更に精密な調査を進めるということで、方向づけは明確にされていない訳でありますし、政策的な県の考え方と、技術的な建設省の考え方とは、多少の違いがあるのではないかと考えられます。

ともあれ、あのような発言があつた以上は、町といたしましても、ご意見のような悪影響をうけるのか、また町発展につながるようなメリットがあるのか、検討すべき段階が、到来したと思われまので、明年度からその対応をいたしたいと考えます。

なお、関係地域住民のみなさんの不安も、非常に大きいことは、よくわかりますので、これについての措置も、検討してまいりたいと思っております。

◎グレーダーの運行について

問 道路整備員廃止の代替措置として、町内の主要路線については、年間二回運行するという計画であったと思うが、あまり稼動していないのではないかと、その実態について伺いたい。



町道を整備するグレーダー

答 今年度は、異常気象による災害が多発し、その事後処理と更に、積雪が多かった関係などで、グレーダーの運行に支障をきたし、十分な対応ができなかったことは遺憾であります。明年度からは、町の運行計画を明示して、関係者の協力を得ながら、運行いたしたいと考えてすでにその運行計画もできておりますので、今月の部落長会へ提出することにしておりあります。

◎中小企業振興資金について

問 この制度による現在の貸付限度額は、個人百万円、法人二

百万円であり、保証人も二人を必要とする。

そのためか、現在の利用者は十七人で、金額も千百六十万円に止まっている。

従って、この資金の利用促進をはかるために、貸付限度額の引き上げと、貸付期間の延長をされてはどうか。

答 運営のなかでは聞いていないが、そのような意見が多いとすれば、変更する必要があるのかどうか、よく検討してみたいと考えております。

なお、その結果必要であれば変更することに、やぶさかではありません。

◎高校分校跡地の利用について

問 さきの議会において、本年度中に使用目的を決定すると回答されているが、その結果はどうなったのか、伺いたい。

答 かけがえのない土地であるので、使用目的を急いで決めるのではなく、百年の大計のために慎重に検討して、決定したいと考えております。

そのために、当面の措置として、公民館横の宇和島自動車(株)の所の土地を購入し、まずこの土地の方から先に利用したいと考えておりますので、ご理解願いたい。

◎町外での結婚式及び披露宴について

問 最近町外において挙式される例が増加の傾向にある。

このことは、公民館挙式に制約もあるので、ある程度止むを得ないものと思われるが、町内の商工業者に与える影響も大きいので、何らかの対応を考えるべきではないかと思うがどうか。

答 挙式は、あくまでも華美にならないよう、本人や身近い人たちを中心とした、公民館結婚式の趣旨を理解していただくような働きかけをして、町外挙式の傾向に対処したいと思っておりますが、そのために施設を造ることは考えておりません。

なお、町内で挙式をした人と町外で挙式した人を対比して見ますと、町内で挙式した人は、平常から、青年団・後継者・社会教育等の活動によく参加していた人たちのようでありますので、この面からの啓発も併せて行いたいと考えております。

◎学校給食センター業務の委託について

問 行財政改革その他の関係で以前から話題になっていた、学校給食センターの業務を、近く開業する特産開発センターへ委託されてはどうか。町長の考えを伺いたい。

答 特産開発事業の中へ、給食

センターの業務を組み入れてはどうかということですが、まずは、各方面から注目されており、特産開発事業を、軌道に乗せ更に安定させることが先決でありますので、その後の課題として、教育委員会と共に研究協議をいたしまして、方向づけをしたいと考えます。

議決した議案

◎人権擁護委員の推せん

次の二名につき、推せんに同意した。

飛 野 虎 生
肱川町大字中居谷一八六番地
大正十年十月二日生

菊 池 昭 三 郎
肱川町大字宇和川七三五番地
昭和二年九月四日生

◎火入れに関する条例の制定

森林法に基づく火入れ許可事務が、市町村への委任事務に移行するために、条例制定が必要となったものである。

◎簡易水道事業給水条例の一部改正

中央簡易水道起債償還金の据置期間満了による元金の償還開始及び総務費、業務費等の自然増によって、四月一日から平均一七・五パーセント引き上げられることになった。

◎国民年金印紙購入基金条例の一部改正

保険料の増額にともない、基金の額を二十万円追加して、八百十万円とした。

◎報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

四月一日より、それぞれ五パーセント程度引き上げることになった。

町 長	月 額
助 役	四十八万三千円
収入役	四十一万七千円
教育長	三十八万九千円
議 長	三十七万五千円
副議長	十三万六千円
議 員	十万七千円
議 員	九万三千円

このほか、教育委員・農業委員・民生委員、その他役職の報酬・手当についても、それぞれ若干の引き上げがありました。

◎道路認定

農道西谷線外十九路線、林道アタゴ線外一路線が、新たに町管理の農道及び林道として認定された。

◎衆議院議員定数は正に関する要望決議

愛媛三区が定数は正対象区域となっており、人口比だけでなく、行政区域の面積等も考慮のうえ、現状を維持されるよう、強く要望する決議案が採択

された。

◎河辺川ダム対策特別委員会の設置

河辺川ダム建設に伴う、交通・通信・農林商工・環境衛生・教育文化・その他あらゆる影響についての調査研究を行う目的で

設置された。

なお、委員の定数は八人、任期は、明年五月五日までとなっている。

選任された委員は次のとおり。
下石 勲・岩田清茂・山中美茂・渡辺弘務・富永計次・山内壮亮・大田 恒・西本源格

特産開発センター主任を配置

四月一日付で二十人が異動

脇川町職員の異動を四月一日付で次のとおり行いました。

今回は、昨年度から準備を進めておりました「脇川町特産開発センター」の新設に伴う人容の整備と、町民課に地域改善係を設け、その事業の推進を図ることにしました。

また、長期在任者の異動を行い、職場の新陳代謝も図っています。

異動後の職員配置図を(11ページ)に載せていますのでご覧ください。

()内は旧任

▽建設課長 増田勇人(町民課長兼町民相談係長) ▽企画課長 兼商工観光係長 上田治男(企画課長) ▽町民課長兼地域改善係長 松尾国和(建設課長) ▽町民課長補佐兼福祉係長兼町民相談係長 兵頭 茂(総務課長補佐兼財政係長) ▽企画課長補

佐・地方公社脇川町特産開発センター主任 中野文雄(税務課長補佐兼調査登記係長) ▽税務課長補佐兼調査登記係長 安川武志(町民課長補佐兼福祉係長) ▽建設課長補佐 万願寺亀次(建設課長補佐兼水道係長) ▽企画課長補佐兼企画係長・特産開発推進事業担当 上岡 茂(企画課長補佐・特産開発推進事業担当) ▽総務課長補佐心得兼総務係長 片山政治(総務係長) ▽建設課水道係長 和気武士(商工観光係長) ▽総務課財政係長 桜田和明(農業委員会農地主事) ▽町民課国民年金係 宮本正三(税務課主事) ▽町民課福祉係 亀田隆代(農林課主事) ▽農林課農林振興係 出水文子(議会事務局書記) ▽町民課地域改善係 三瀬健一(町民課国民年金係) ▽企画課商工観光係 畦崎和男(建設課技師)

議 会

▽書記 池田悦子(公民館主事)

教育委員会

▽子林小学校主事兼幼稚園助教諭 上岡時子(岩谷幼稚園)

▽岩谷小学校主事兼幼稚園教諭 中田初子(子林幼稚園)

▽脇川中学校用務員 中岡稲生(給食センター調理員) ▽公民館主事 飛野澄子(町民課主事)

▽公民館管理人 上甲福子(脇川中学校用務員) ▽給食センター調理員 河野幸子(公民館管理人)

農業委員会

▽農地主事 飛野弘幸(企画課企画係長)

企業係長)

上野 美幸ちゃん(上鹿野川)

57・6・13日生まれ(1歳10か月)



お父さん 勝さん(23歳)
お母さん 都司美さん(21歳)

親の好きな名前を選んで名付けました。

小さい時から、人見知りせず手を出されると誰にでも抱かれる愛きょう者です。よく男の子に間違えられますが、活発な女の子です。

将来はやさしく思いやりのある子に育ってほしいと願っています。

わが家のアト

No.

10

三浦 春奈ちゃん(影 地)

57・11・14日生まれ(1歳5か月)



お父さん 国利さん(41歳)
お母さん 高子さん(33歳)

新せきや近所がない名前をと思って名付けました。
十日程前に、うさぎ小屋のトタンで人さし指をきり、お医者さんに縫ってもらいましたが、本人は今もヘッチャラのようです。
将来は平凡な子に育ってほしいと願っています。

花まつりの開幕を祝い

鼓笛パレード



鹿野川園地を出発する中野小鼓笛隊

四月三日、鹿野川花まつり式典が鹿野川園地の野外ステージで行われました。
式典では、久保田観光協会長、丸山公園園主・富永廣氏をはじめ関係者二十人が出席して神事が行われ、花まつり期間中の安全を祈願しました。式典のあともちまきと中野小学校児童による鼓笛パレードが鹿野川園地から鹿野川商店街を行進して花まつりの開幕を祝いました。

桜などの苗木

千本を植樹

町創立四十周年記念

町創立四十周年を記念する花木植樹が、三月二十四日鹿野川園地と過疎林道脇川、野村線沿線で行われました。



町議員さんらの手で植えられる花木

この植樹は、昨年の町創立四十周年を記念して、花いっぱい町のつくりを進めようといわれたものです。

当日は、町議員・農業委員・森林組合職員・町職員ら約六十人の手で、桜の名所鹿野川園地や、過疎林道脇川、野村線沿い約五キロに、桜四百二十本・モミジ三百本・ツバキ百五十本・サザンカ百三十本を植え込みま

ました。

過疎林道脇川、野村線は、五十九年度完成を目指して工事が進められています。これが完成すると、鹿野川園地から岳山・峰峠・天神・大野ヶ原を結ぶ観光道路としても利用され、道路沿いに植えられた桜やサザンカの花が、道行く人達の心を和ませることができるでしょう。

岩田・堀川前議長に

地方自治功労賞

前議長岩田横太郎氏、同堀川史朗氏は、町議会議員として三

十年以上在職し、地方自治伸展のために貢献された功績により、このほど、全国町村議会議長会長表彰を受けられました。

なお、両氏へは町からも記念

いあいさつ



新緑の目にしみる候、脇川町内の皆様にはますます御健勝のことと推察申し上げます。

私は、去る三月三十一日付をもちまして、当脇川郵便局の局長に就任いたしました岩野安行でございます。

御当地は山紫水明・自然の豊かなところと認識しており、今回この地で皆様と共に仕事のできることを大

変幸せに思っております。

さて、当脇川郵便局は、郵便事業・郵便貯金事業・簡易生命保険事業などを通じて皆様方に奉仕し、社会の発展、福祉の向上等に寄与させていただいておりますが、今後ともよりよいサービスを提供し、地域の皆様方のお役に立ちたいと思っておりますので、前任者と同様何とぞ一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

脇川郵便局長

岩野 安行



堀川 史朗氏



岩田横太郎氏

優良教員として 土井教諭(岩谷小)が受賞



土井 豊城氏

土井豊城教諭(岩谷小)は、教育に対する信念と情熱、豊かな経験と熟練した指導力を持ち、山間へき地の特色を生かして「地域に根ざした教育」の進展に寄与した功績により、去る二月二十日、愛媛県庁において県知事優良教員として表彰を受けられました。

今後ともますますのご活躍をお祈りします。

一口医学

受験・新入社・人事異動等、春はストレスが多いので、胃や十二指腸カイトウになったり、再発で悩む人が一番多い時期といえます。

胃カイトウが四十〜五十歳以上の人に多くみられるのに対し、十二指腸カイトウは二十〜三十歳の若い人に多く、最近是小学生にもみられるようになっていきます。

また、胃カイトウは空腹時にも食べた直後にもみぞおちのところが痛みますが、十二指腸カイトウは早朝や夕食前など空腹時に痛むことが多い。胸やけも

十二指腸カイトウ

げつぶもよくみられますが、食事をとったり、制酸剤の服用などにより症状が軽快しますし、食欲もあるので、市販の胃薬などでごまかしている人が多いようです。

しかし、放っておくと穴があらいて腹膜炎をおこしたり、胃との間にある幽門が狭くなったりするため、食べものが腸に下がって行きにくくなる場合があります。さらに胃ガンの危険もでてきます。

きちんとした治療を受ければ割に治りやすい病気ですから、早く医師に相談してください。

青少年の 豊かな心を育てよう

警察や学校からの連絡でわが子の非行を知り、「うちの子に限って……」と絶句する親が多いといわれます。

子供は、ある日突然、非行に走るではありません。病気に潜伏期間があるように、非行という心の病にも「前ぶれ」があります。

ふだんから子供の生活を注意深く見守りながら、非行の芽を早い時期に摘みとってしまいうことが大切です。

子供のどういう言動が非行につながっていくのか、その「兆し」のいくつかを挙げてみました。

- 学校の成績が急に落ちる
- 親への態度が悪くなり、言葉遣いが乱暴になる
- 親には言わないでふらっと外出し、遅く帰ってくる
- 外見を気にするようになり、服装がはでになる
- 親にお金をねだり、もらえないと盗むようになる
- 酒やたばこを隠れて、あるいは堂々と飲む。

心身ともにたくましく

非行の防止は ふだんの対話から

非行防止の ために

- ▼日記をつけさせ、一日の反省と明日への計画を立てさせる
- ▼乱暴な言葉遣いはやめさせる
- ▼近所の人へのあいさつを励行させる
- ▼子供が外出するときは、必ず5W1Hを尋ねる（5W1HⅡいつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どうする）
- ▼小遣いは、きちっと額を決め、何回かに分けて与える。
- ▼子供同士の金銭貸借はやめさせる

見えたはじめたら、要注意です。

子供の心の中に何が生まれ、どう変わりつつあるのか、その原因と背景は——などの点について考え、親子の話し合いをもちましよう。そして、非行防止策として、次のようなことを実行に移しましょう。

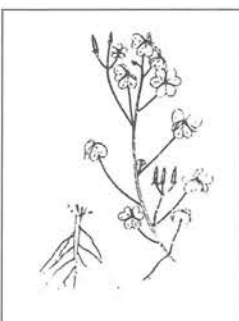
家庭内の環境や人間関係が非行の大きな原因になっているといわれています。特に中学生は反抗期にあるので、家庭団らんをできるだけでも、ふだんから親と子が話し合う習慣をつけておきたいものです。同時に、子供の日課や生活上の規律について、親は注意深く見守ってやるのが大切です。



薬草のいろいろ

(26)

今月は「カタバミ」を紹介いたします。庭先・道端など、いたるところに見られる多年草。黄色の5弁花で、雄しべ10本・花柱が5本あります。夕方になると花や葉を閉じます。果実は円柱形で直立し、熟すると小さい種子が2mぐらい飛びます。



カタバミ(カタバミ科)

酸味があります。葉の一方が欠けているので、カタバミの名になったという。色によって、アカカタバミ・ウスアカカタバミといわれます。方言でゼニミ

- とも呼ばれています。
- 採取時期 5月～9月の開花中に全草をとり、水洗いします。薬効と用い方
- ①痔に、煎汁で洗ったり、塗ったりする。
 - ②こしけに、1日15gほど煎服するとよい。
 - ③トラホーム・はやり目・つかれ目などに、全草の煎汁をうすめた液で洗眼するとよい。
 - ④寄生性皮膚病に、生の全草をとり、茎葉のしぼり汁を作って塗布する。

便利でお得な

〈国民年金保険料〉の前納制度を 利用しましょう

国民年金では保険料を前納する制度があります。前納しますと、一か月ごとに納める手数もはぶけて、納め忘れもなくなります。

前納制度をご利用される方は、年金係へ申し出てください。いそがしい方や納期ごとに納めるのが面倒だと思われる方は、ぜひ、前納制度をご利用ください。

◎毎月納める場合

6,220円×12月＝74,640円

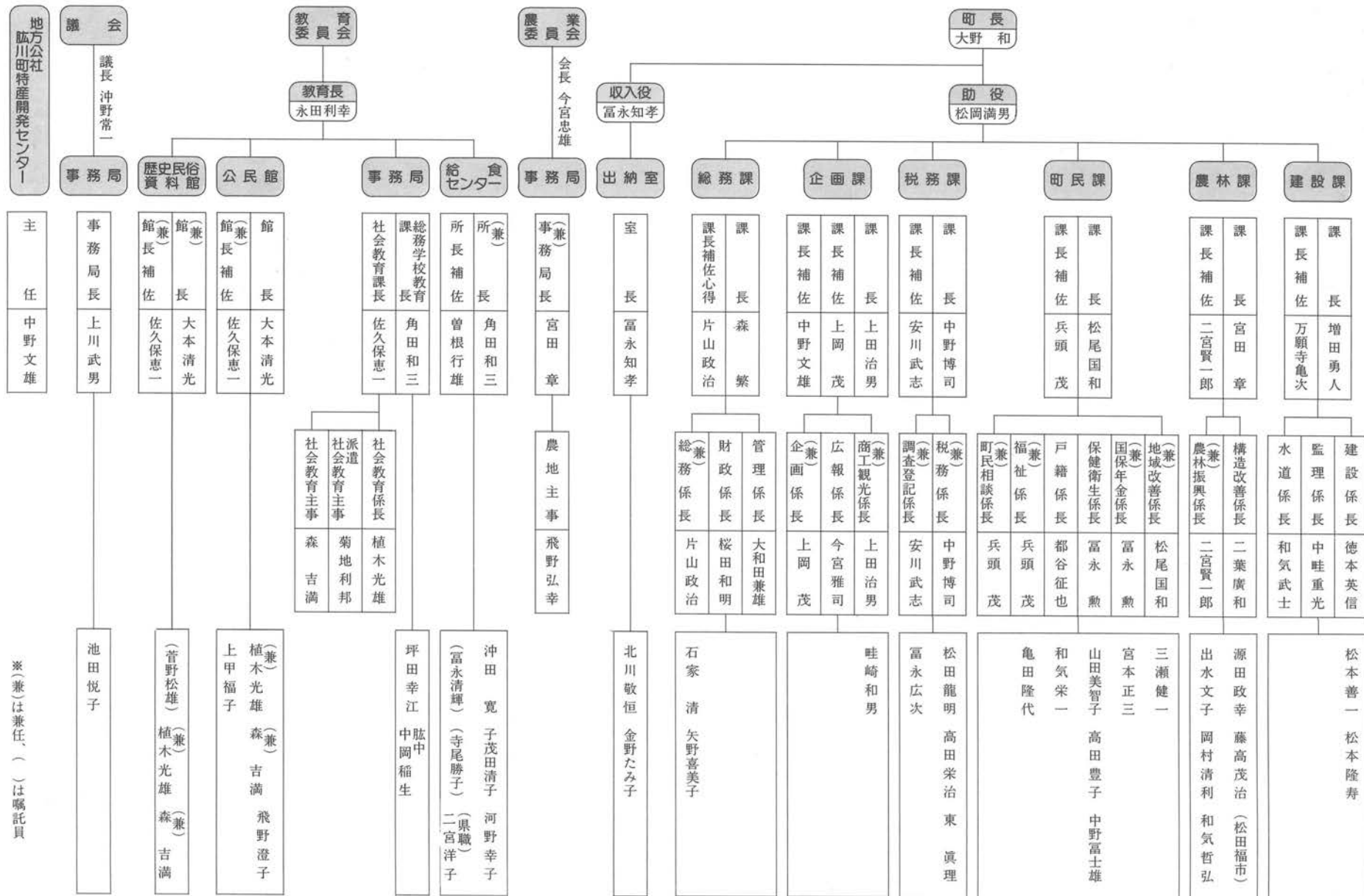
◎4月に1年分を前納した場合

72,840円

★前納すると1,800円の割引となります。

※くわしいことは、町民課国民年金係へおたずねください。

肱川町職員配置図 59.4.1



※(兼)は兼任、(一)は嘱託員

肱川農協 育苗センター完成す



語 完成した肱川農協育苗センター

以前より農家の強い要望により、建設が急がれていた当農協育苗センターが遂に完成しました。

建設場所は、予子林大駄場の共同桑園を造成し、農産物育苗棟一棟、育苗ハウス十棟が建設され、早速今年から電熱線ハウス四棟を利用してタバコ苗の育苗が行なわれました。

この育苗センターは、新農構農村地域農業構造改善事業にて実施したものです。

(一)事業費は、育苗棟・育苗ハウス・育苗機器一式合わせて一、五五〇万円

(内、国庫補助金五〇%、農協負担金五〇%)となっており

(二)育苗センターの利用計画

図(1)の通りです。

(三)作物別育苗計画

表(1)の通りです。

今後組合員の皆様の中広いご利用をお待ちしております。

(表1) 作物別育苗計画

作物名		育苗期間	供給面積	供給農家個数
水 稲		5月上旬～6月下旬	40ha	400人
キュウリ	トンネル	3月上旬～4月中旬	1ha	15人
	夏	4月中旬～5月中旬	6ha	85人
	秋	6月中旬～7月中旬	3ha	40人
タ バ コ		2月上旬～3月中旬	30ha	50人
ブ ロ ッ コ リ ー		7月下旬～9月上旬	2ha	30人
一般苗(ナス・トマト・ピーマン等)		2月中旬～4月上旬		

(図1) 育苗センター利用計画

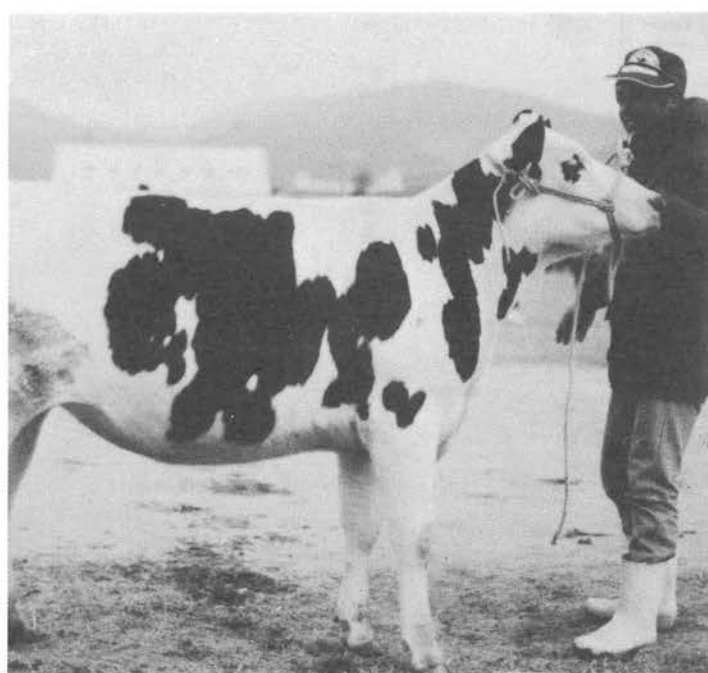


去る三月十日県農協共済連グランドにおいて、愛媛県酪農経営者協議会主催による乳牛共進会が開催された。肱川町より出品した三頭の牛、育成牛(十二ヶ月未満の部)で、富永武雄君の愛牛が見事入賞の栄誉に輝いた。

彼は大変努力家で若い頃から酪農経営に情熱を燃やし乍ら乳牛の改良に努力した結果が今回実り栄冠を射止めたと言える。

来る四月十一日から徳島県に於いて四国四県の共進会へ出品す

栄誉に輝く(育成牛)



入賞牛 レジナ・キッドビーグと富永武雄君
県共済連グランド於

る事になっており、毎日愛牛の調教に余念がない。

現在四十五頭(搾乳牛三十二頭・育成牛十三頭)繋養しているが一日の搾乳量が四〇kgを超す牛が大半を占めているのも彼の自慢のひとつとも言える。

今後は年間一万キログラム(一頭年間六、〇〇〇キログラム)の搾乳牛を揃える事を目標に頑張る度いと増々意欲を燃やす肱川町酪農家のリーダー的存在にある彼に心から期待したいものである。

岐阜県今須林業

先進地調査報告!!



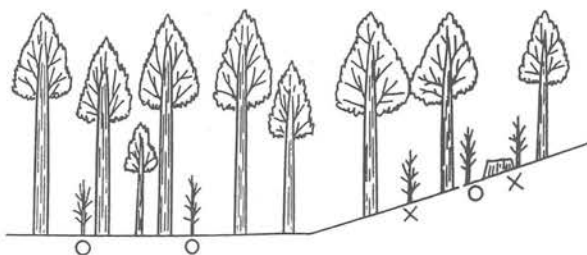
雪の中、山本総助氏による木登り、枝打を熱心に研修する。

脇川林業の良質材を組織的・計画的に、つくるためには、山林所有者が、原点に帰って、良質材とは、どのようなものか、どうすれば出来るか、そのための経営はどのようにすればよいかを再認識する必要があると考えられます。去る三月十五日より、三月十九日の間岐阜県今須林業地を、林構事業において、視察研修を、五十名でいたしましたのでその内容を御報告致します。

今須林業は、地域住民が、百年以上にわたる、林業経営についての体験の結晶で、小規模面積より、連年収穫の保続を行なっている先進地であり、(植栽した直後のものから、いつでも収穫できる老壮のものに至るまでの

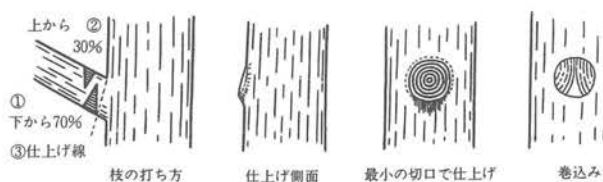
- (1) 地域の全林家がこぞって古くから、スギ・ヒノキの用材林択伐施業が行なわれておりその面積は約八〇〇haである。
- (2) 絶対に皆伐しないので、跡地は人工植栽により、その後の保育作業は労力的に集約度が高い。特に下刈については、林木を林地に陳列した商品と同じだとの考え方で行ない、立木評価を有利にしている。
- (3) 枝打ち技術の習熟度が高く樹高の三分の二以上の枝打ちを行なっている。
- (4) 無節通直の良質材を生産し主として柱材板材その他造作材に当てられ価格も高い。
- (5) 立木のまま販売し、買手は地区内での木材・製材業者(高度な伐採技術者)に限られている。
- (6) 古くから交通の便がよく、比較的小面積の経営であるが、どの林家も立木評価ができ、毎年かなりの収穫をあげている。

択材林内の植栽



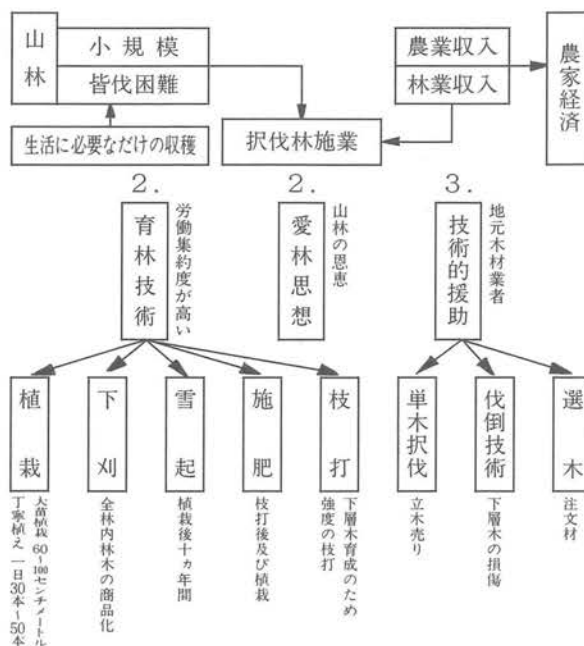
1. 1 m前後の大苗を植える。
2. 傾斜地には伐根の下方又は側方に植える。
3. 上層木の樹冠中に植える。
4. 天を迎ぎ天が良く見えるところに植える。

枝のとり方



- 枝は絶対に下から打ち上げてとる。
- 傷口は小さくする。
- 枝の下側は打ち落さない。
- 両刃鉋により打ちとる。

今須林業の体系図





肱川土場木材相場表 (単位才当り：円)					
第339回市 昭和59年3月17日 県森連市より					
長さ	末口径	スギ	ヒノキ	マツ	その他
4 m	7cm下	本 354	本 344		松ババルブ
	8cm上	63	63		未口 6cm上
	12cm上	70	112	18cm上63	長さ 2m
	18cm上	80	116	24cm上73	26円
3 m	30cm上	137	231	30cm上74	椎ババルブ
	7cm下	本 177	本 177		未口 6cm上
	8cm上	35	39		長さ 2m
	11cm上	35	70		24円
2 m	13cm(ニ)	73	121	18cm上59	バリ材
	13cm(元)	109	207	24cm上65	材(松・杉・桧)
	18cm上	63	112	30cm上70	長さ 2m
	7cm下	本 39	本 39		未口 3~6cm
6 m	8cm上	14	14		1本70円
	16cm上	32	67	13cm上26	松ハリ材
	30cm上	74	126	30cm上26	16cm~22cm
	13cm(ニ)	77	194		3 m 59円
特選	13cm(元)	95	301		4 m 73円
	13cm(ニ)	137	249		5 m 87円
備考	13cm(元)	249	546		6 m 98円
	足場	1 m当り25~140円 尺当り 8~47円			
	備考	依然杉・桧は柱材を中心に買気旺盛にて好相場を持続するも、松材は桁材を除き、梁・梱包材はやや弱気配。			

肱川町森林組合乾椎茸相場表					
1.市売日……昭和59年3月27日					
1.販売数量……62ケース 1,045.5kg					
1.数量内容及び平均単価 単位(円)					
区分	銘	香	信	ドンコ	特用バレ
数量(kg)	725.5	27.8	166.6		
比率(%)	69.8	2.7	15.9		
平均単価	7,280	9,830	6,800		
1.銘柄別価格 単位(円)					
名	柄	単	価	銘	柄
大	厚	8,530		ドンコ小	6,800
中	厚上			特用大葉	7,380
中	厚並	7,870		大バレ	6,980
小	厚	6,850		特用中葉	7,020
大	ウス	8,560		中バレ	6,516
中	ウス上			特用小葉	7,000
中	ウス並	8,500		小バレ	6,250
小	ウス	6,390		変形大	
ジャミウス		5,680		変形小	
ドンコ大		9,830		色落	3,940
ドンコ中		7,800		コーク	

フレッシュマン

新人職員紹介



菊池 啓一 (20歳)

此の度、県養蚕連の人事移動により肱川農協に就任することになりました。新卒で未熟な私ですが、前任者・山本先生同様よろしく指導賜りますようお願い申し上げます。



水池 江美 (18歳)

二月から農協へ勤務する事になりました。まだまだ人も知らず仕事もわかりませんが、先輩のご指導を頂きたいし、ようけんめい頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



上田 栄子 (22歳)

四月二日より農協へ勤務する事になりました。七年間肱川町を離れていた私にとって地元で働けることの喜びを感じています。

ます。まだ右も左もわからない状態ですが一日も早く一人前の農協職員となる様努力してゆきたいと思っています。

昨日制服を頂き鏡に写った自分の制服姿を見た時、嬉しい気持ちと同時に農協職員としての責任というものを感しました。これから持ち前の明るさと根性で頑張りますので皆さんよろしくお願ひ致します。

今月の農作業

きゅうりの仕立て

きゅうりでは摘芯側枝どり栽培が行われていますが、側枝の発生が低下したり、収穫果数が少いわりに不良果が多かったり、きゅうり自体の寿命が短いなどの事実を耳にすることがあります。これらの障害は、摘芯に伴う根の弱りが大きな原因です。

頂芽でつくられるオーキシンというホルモンが発根や伸長などの根の機能を促すしくみになっていますが、摘芯を行うと頂芽がなくなるとホルモンが転流されなくなり、根の発育や伸長が悪くなり、側枝が発生してくると再び根の活動が回復します。

具体的には、五節目までの側枝は早目に摘除して、六節目か

らは二節で摘芯しますが、作業は一斉に行わないで下位節から少しづつ行うようにして、株上の側枝一―二本はいつも頂芽を残しているようにします。

また、「遊びづる」と呼んでいる側枝を十二―十四節の間で一本残しておきますが、これも根の活力を弱らせないための大切な配慮です。

収穫最盛期以降は放任しますが、その場合、側枝に果実の重みで下がり下がった状態になると、養分の流れが悪くなって不良果が多くなったり、孫づるの発生が悪くなったりしますので側枝の誘引作業は継続して行い、側枝が垂れ下らないようにして下さい。

イネの稲枯細菌病を

予防しよう

昭和五十八年産米に於いて、稲枯細菌病が全国的に異常発生し、発病面積は愛媛県の場合、栽培面積の約四九%に至りました。

肱川町に於いても、宇和川・中

津の一部で発病を確認しましたが、他の地区でも、発生があったものと思われる。

昨年の稲枯細菌病の発病の特徴は、育苗時における稲枯菌による苗腐敗の発生はそれほど多

くなく、出穂期になって稲枯症状が異常に多かった点であります。

稲枯細菌病の生態については各機関で検討を急いでいますが十分には解明されてなく、確立された予防法もないのが現状です。

イネの稲枯細菌病は、穂に稲枯症状をおこして、減収をきたすとともに、種子伝染して苗腐敗をおこします。

又、育苗時に軽く感染した苗や外見上健全な苗が本田に移植されてから、稲枯症状を発現し、防除が困難とされている病害です。

一、稲枯細菌病の特徴

- (1) 種子伝染によって苗腐敗をおこす。
- (2) 育苗時の管理が、高温・多湿になると、苗腐敗をおこしやすい。
- (3) 夏季の高温は発病しやすくなる。
- (4) 前年多発した水田では、発病が多くなる。
- (5) 稲枯症状が多発した水田の種子は、苗腐敗が多くなる。

二、耕種的防除法

以上の点を参考にし、今年は、稲枯細菌病の被害を出さないようにしましょう。

(育苗時)

- (1) 種子稲は、多発圃場から採種しない。
- (2) 種子稲は、塩水選による選別を行う。(比重うるち一・一三 もち一・〇八)
- (3) 浸種時の水管理を適正にし水温を高めない。(二五度C以上にしなない)
- (4) 出芽時の温度を三〇度C以下に保ち、過温にならないよう注意する。

(本田期)

- (1) 前年多発した水田は、採種圃として使用しないことが望ましい。
- (2) 被害ワラや穀殻は、堆肥化するか年内に石灰窒素を施すき込む。
- (3) 移植(田植)後の冠水は、発病要因となることがあるので水管理に十分注意する。

三、薬剤による防除法

- (1) 種子消毒を行う。
ペンレートT水和剤二〇〇倍に四八時間浸漬する。四十八時間浸漬する。
- (2) カスミン粒剤の箱施用を行う。
一箱当り三〇gを育苗培土に均一に混和する。

4月の集配予定日

5月1日(火)	月野尾・小藪
5月2日(水)	中津・子子林
5月4日(金)	宇和川南
5月8日(火)	宇和川北
5月9日(水)	岩谷方面
5月10日(木)	大谷方面
5月15日(火)	月野尾・小藪
5月16日(水)	中津・子子林
5月17日(木)	宇和川南
5月22日(火)	宇和川北
5月23日(水)	岩谷方面
5月24日(木)	大谷方面
5月29日(火)	月野尾・小藪
5月30日(水)	中津・子子林
5月31日(木)	宇和川南

5月

醤油配達予定日

5月11日(金)	小藪・岩谷
5月18日(金)	宇和川方面

5月

LPガス配達予定日

大谷・肱栄	2(火)12(出)
小藪・汗生	7(月)21(月)
子子林・大駄馬	9(火)24(火)
正山・中居谷	10(水)25(金)
月野尾・岩谷	15(火)30(火)
中津・小倉	18(金)

幼児期の 家庭教育を進めよう！

公民館活動

基本方針

公民館活動の原則である、「いつでも」「どこでも」「誰でも」の考えで、みんなが学習活動やいろいろな場に参加していただくよう、努力します。

昭和五十九年度がスタートしました。肱川町公民館の運営方針も決まり、新たな気持で役職員一同張り切っています。

公民館は、社会教育を進める中心施設としての学習センターとして、会合や研修を進める集会施設として、そして町民のみなさんが気軽に活用していただく「茶の間」として利用していただきたいと思っています。

「生涯学習」が強くいわれている今、町民のみなさんも、自分自身から学習する意欲を育てて下さい。公民館も、いろいろな場でお手伝いをいたします。

みんなが肱川町を守り、育てていきたいものです。



親業講座

生涯にわたっての人間形成の基礎になる幼児期のしつけや家庭教育

家庭教育

しつけ教育が大事

- 心のかようふるさとづくりをすすめる。
- 人間性の基礎を育てる幼児教育につとめる。
- 町ぐるみで青少年の健全育成につとめる。
- 地域に根ざした豊かな文化を育くむ。
- みんなが参加するスポーツの振興につとめる。
- お互いの人権が尊重される明るい町づくりにつとめる。

心の豊かな人づくり

読書活動

育を充実するための学習を進めます。

- 親業講座
- 家庭教育学級

○お話し文庫

二・三歳児を対象に読み聞かせ読書で親子のつながりと本を読む習慣づけを進めます。

○親子文庫

幼稚園児を対象に、親子読書でふれあいを深めます。

○児童文庫

小学校一・二・三年生を対象に本に親む習慣と基礎能力を養います。

たくましい「肱川っ子」を

少年教育

子ども会活動や緑の少年隊・スポーツ少年団活動を育成しながら集団活動の中から、役割分担や共同意識・協調性を養い、たくましい「肱川っ子」を育てます。

- 学校・分館・家庭との連携で、ふるさとを味わう活動を進めます。
- サマースクール
- 自然科学教室
- 子供会リーダー研修会
- 少年団体の育成

す。

○分館移動文庫

各分館へ配本し、周辺地域の図書利用の便宜を図ります。

○読書グループの育成

小地域単位でのグループを育成し、読書をおとしてコミュニティを推進します。

○婦人会巡回文庫

○配本駐車場の利用

○読書相談・購入のあつせん

その他、青少年健全育成文庫として、教育委員会から小学校高学年を対象に「なかよし文庫」、中学生を対象に「人生文庫」が配本されています。

豊かな心を読書で育てましょう。



リーダー研修会

ふるさとづくり活動

青年の学習

ふるさと意識を高め、あすの肱川を考える学習を進めます。

青年としての教養を高め、社会的役割と責任を自覚し、活動する学習を進めます。



岩谷生産学級

生産学習の推進

成人の学習

内外の社会情勢に目を向け、変化に対応できる学習を、農林団体と連携しながら進めます。

- 健康を自ら守る人づくり。
- 家庭の役割りを理解し、実行できる人づくり。
- 地域を大切にし、人間関係を正しく育てる人づくり。
- 農山村の役割りを認識し、生産学習に取り組む人づくり。
- 部落学級



〇Bを迎えての
研修会

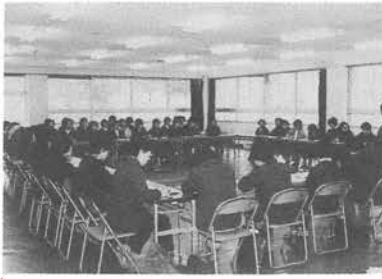
青少年を 健全に育てよう！

昭和59年度

部落婦人学級

婦人の学習

青少年の非行化・高学歴社会・高齢化社会・医療費増大・家庭経済の悪化など、むずかしい中で家庭と婦人の役割を正しく理解し、



婦人会の研修

実行できる学習の場を広めます。

- 婦人会の育成
- 婦人学級
- 部落婦人学級
- 生活運動の推進

お四国学級

高齢者の学習

健康の維持に努めながら、高齢者として一日一日を精一杯生きぬき、生きざまを次の世代に残すための学習を強めます。

- お四国学級
- 高齢者スポーツの推進



生きがい学習

正しく理解する学習を 同和教育

幼児・児童・生徒・各職域など各層の教育態勢を整えながら、同和問題を正しく理解し、お互いの人権が尊重される学習を進めます。

- 各職域での学習
- 部落学級
- 機会をとらえての啓発

放送利用学級

視聴覚教育

各種学級や講座に、映画やビデオを活用し、効果的な学習と活用を進めます。
地域文化や芸能の保存と活用をはかります。

- 放送利用学級(家庭教育)
- 地域文化の保存

文化講演会

文化活動

香り高い文化の町をめざして、心の豊かなやすらぎのある活動を進めます。

- 親子映画会
- 文化講演会
- 絵画教室
- 文化グループ育成



町づくりを考える

文化財の保護と活用

歴史民俗資料館との連携を図り、ふるさとの自然・歴史・民俗・芸能などへの理解と認識を深め、文

広報・展示活動

広報展示活動を進めることにより、社会教育や公民館活動についての理解を進めます。

- 公民館報の発行
- 館報を自由な広場として活用
- 各種グループサークル、学習の成果などの展示活動

積極的な参加を

社会体育

町民一人ひとりが健康づくりとコミュニティづくりの面から、積極的に参加する社会体育を進めます。

- 婦人バレーボール教室
- スポーツクラブの育成
- スポーツ大会の開催

生活運動

“みえを捨て、心豊かに明るい町づくり”を合言葉に、生活改善運



文化財標柱設置

化財の大切さを学習します。

- 有形・無形文化財の保護
- 文化財資料の調査記録活動を進める。

町内諸団体との連携

地域課題や生活課題を明らかにして、改善に向かって実行できるよう、各機関・団体と「一緒にやれるものは一緒に」、更につながりを深めるよう努力します。

分館活動に

参加しましょう

分館では、それぞれの特色を生かした活動を実施しています。まず地元の分館活動に目を向けて、地域づくりにつながるよう、積極的に参加しましょう。



公民館結婚式

大谷村古文書

①

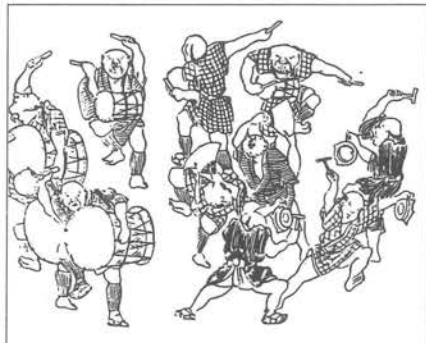
大谷村古文書は、先月号でお知らせしておりましたとおり、肱川中学校の大村校長先生に解読していただきました。

その中から、貴重な記録を何回かに分けて紹介していきます。

当地は、弘化三年（一八四六）午年の大風以来、風水害・干害・虫害があとをたなかつたようであるが、大谷村には、この頃の雨乞いの貴重な記録が残されているので紹介しよう。

文久元年西六月廿六日
辰ノ口大雨乞手控 大谷村

一 五月始七日占六月廿六日に至りて雨無く、例に依り辰ノ口大雨乞、組合相談の上相催す。尤も宇和川方占廻達これあり。
一 廿六日朝七ツ時（四時）辰ノ口揃い、軒別本人各人ツ。
一 当日殺生停止の事。
一 身分、上下着用にて相詰め候事
一 組頭袴持参の事。但し、村々各人ツ、袴着用にて廻りに相詰め残りの組頭踊り世話の事。
一 暑気はらい酒五升樽六丁用意持参の事。踊の者へは、ひらにて沓ツ、九ツ過ぎ吞ます。五人頭へ式ツ、吞ます、おんど出しへは両度吞ます。
（両度一上度）



の節船引兩人相加え候。
一 茶わかし道具用意の事。
一 小屋覆い沓組分、洪紙式枚ツ、持参のこと。
一 小屋杭木石丸占持参の事。但し船へ積む。
一 高張り沓ツ織りちよふちん三持参致す可き度。（事）
一 踊り人数仕度向き、心得違いこれ無き様、入念申し付く可く候。
一 大鼓持参の事。おんど出し、七八人兼て申し付け置き候事。

一 一統手并当用意の事。
身分、組頭、社人、山伏などへ年行事占茶並に菜仕出す
（社人・山伏・年行事・総務）
酒の青年業事占、右の人数へ少し用意の事。
一 大船石丸占出す。屋形付き、縁取類、その他船中入用の品、同所占借用持参の事。但し、帰りの節船引兩人相加え候。

一 踊り始め、線香沓本最合い、その後左の通り組合にてせん香沓本替りに踊らす。仕舞沓本最合、替り交代の節混雑致さざるよう差図第一の事。柏子木を打ち交代の相図を致す。都合、せん香十六本尺け踊り、仕舞七ツ半頃。一 祈念相済候節、組合同役半分ツ、相分かれ、社家、山伏一度に相揃って拝み、引き続いて村々組頭各人、袴着用にて、右同様一度に相揃う。人数相改め滞り無く相揃い候て帰村申付候度。
一同役兩人ツ、上下にて廻りに相詰める。凡そ線香沓本ツ、にて交代。
一 身分、社人、組頭、年行事、人足石丸占夜船にて参る。
右の他萬事嚴重相心得、用意向怠り無く致す可く、辰ノ口詰中は又嚴重相勤め、諸事心を用い

婦人バレーボール教室生募集

昭和五十九年度のスポーツ教室として、婦人バレーボール教室を実施する事になりました。

今までは、分館へ出掛けて、行っておりましたが、今回は、全町から肱川中学校体育館へ集まっています。次、次の要領で行います。
一人でも多くの方が参加していただき、健康づくりやコミュニケーションを高めたいと思います。
お待ちしております。
教室名 婦人バレーボール教室



ファインダー

近頃、やたらと新しい言葉を、目にしたり、耳にしたりする事が多い。たとえば、新聞の社説等を読んでもそうだし、まして広告等に致つては、ために横文字を省いてみると、おおよそ、訳が解らない事が多い。
もちろん横文字全て悪いという訳ではなく、それどころか、現

申す可き事

内 組頭 兩人 大谷村
山伏 老人 人足 四人
船頭 三人

辰ノ口は鳥首あたりのようである。雨乞いの効き目の方は如何に……。

日時 五月～八月
午後七時三〇分から九時三〇分まで

場所 肱川中学校体育館

練習日 週一回（土曜日）

参加者 町内の婦人

参加料 無料

申込み 五月十五日までに

肱川町公民館へ

TEL(三四)二三〇七

指導者

肱川町公民館
体育専門委員

在の社会生活において、横文字なしでは、もはや過ごせないのではないかとさえ思える。しかし、その事を別にしても、やはり何か不自然さを感じるのには私一人だけだろうか。さらに次から次へと、出てくる新しい単語、これには正直いつて困る。もちろん私の勉強不足のせいでもあるだろうが、まるで意味が解らない。まあそれでも全体を通して見れば、おおよその事は解るのである、なんとか不自由しないですんでいるのだけれど、解らなければ解らないで、妙に気になる。後で、調べてみると、案外それは今まで使っていた言葉を、単に横文字に置きかえただけのものであったりする事が多い。しかし、現にその言葉が、一般語として、通用するのだから、どうしても必要に応じて、覚えなくてはならなくなったりする。ただ、各々の分野においての専門的な事、これは仕方ない事だと思ふ。新しい言葉が出てくるのは当然前のことであり、又それなくては進歩はないのだから。人類の進歩においてさえ、文字と言葉は、大いに役立ったのだから。でも私達が、日常使っている文字や言葉については、もう一度考えなおしても、いいのではないだろうか。仮に二、三年の眠りから覚めてみると、家族との会話にまで通訳が必要になっていた。などと言え、皆さんは「何をつまらん事を」と言つて笑うでしょうね。

町内小・中学校の先生異動

この春、町内の各小学校・中学校で先生方の異動がありました。紙面の都合で転入された先生方しか載せておりませんが、転出された先生方、長い間お世話になりました。

転入してこられた先生方、肱川町の子供達をよろしくお願い致します。

転入 中野小学校

教諭 緒方和子 内子町立村前小学校から

教諭 西田慶子 野村町立惣川小学校から

教諭 中野恭子 五十崎町立天神小学校から

養教 吉見佳代 新採主事 村上淳一 五十崎町立天神小学校から

栄養職 二宮洋子 内子町立内子中学校から

○正山小学校 教頭 正岡艶子 五十崎町立五十崎中学校から

教諭 宮部ツキ 内子町立内子小学校から

○大谷小学校

教頭 田村宗信 城川町立遊子川小学校から

教諭 宇都宮玲子 北条市立河野小学校から

○岩谷小学校・幼稚園 教頭 維田満徳 大洲市立柳沢中学校から

教諭 河内美登里 肱川町立中野小学校から

幼稚園教諭 中田初子 予子林幼稚園から

○予子林小学校・幼稚園 教諭 高田明子 内子町立内子小学校から

幼稚園助教諭 上岡時子 岩谷幼稚園から

○肱川中学校 教諭 芳我素典 内子町立内子中学校から

教諭 徳田守 内子町立内子中学校から

教諭 和田道人 内子町立内子中学校から

教諭 松原智子 新採

養教 小嶋きよみ 五十崎町立五十崎小学校から

●退職 水本 忠徳 正山小学校教頭

松下美代子 予子林小学校教諭

長い間、ご苦勞様でした。今後共、肱川町のためご活躍をお願いいたします。

情宣部長 中野富士雄

副情宣部長 桜田公香

青年団だより

肱川町青年団は、三月三十一日に総会を開き、新しい役員が決まりました。団長を中心に、ニュー青年団として、新しい古里づくりの中心としての活動を期待します。

新しい役員は次のとおりです。

団長 高田栄治

副団長 土居裕二

事務局長 松本隆寿

体育部長 中居 優

副体育部長 土居節子

文化部長 和気哲弘

副文化部長 河野ゆかり

幼稚園助教諭

上岡時子 岩谷幼稚園から

○肱川中学校

教諭 芳我素典 内子町立内子中学校から

教諭 徳田守 内子町立内子中学校から

教諭 和田道人 内子町立内子中学校から

教諭 松原智子 新採

養教 小嶋きよみ 五十崎町立五十崎小学校から

●退職 水本 忠徳 正山小学校教頭

松下美代子 予子林小学校教諭

長い間、ご苦勞様でした。今後共、肱川町のためご活躍をお願いいたします。

情宣部長 中野富士雄

副情宣部長 桜田公香

○町内青年のみなさんへ

今、青年団には、約五十名の団員があり、スポーツや文化、地域づくりなどいろいろな活動を進めています。

しかし、町内には、まだまだ多くの若者が生活しています。これからの肱川町は、若者の手にまかされてきます。

こんな時こそ、青年団活動に参加して、みんなで古里づくりを考えましょう。そして、一生を託す友を見つけ、お互いを磨き合う活動を進めましょう。

参加を待っています。

捨てないで 資料館へ

家を取りこわしたり、物置きや倉の片づけをしたりしている時に気をつけてみて下さい。

民俗資料として、大切なものがあるのではないのでしょうか。

又、いろいろな物でも、これはダメだと決めて、無造作に捨てたり、焼いたりしないでいただきたいと思います。将来へ残しておくべき大事な資料かもしれないのです。

そんな時、歴史民俗資料館か公民館へチョッと連絡して下さいませんか――。

同和問題

一問一答 ①

公民館では三月号まで、シリーズで「同和問題を正しく理解しましょう」を掲載してきました。

しかし、このシリーズを読まれても、まだいろいろの疑問が残っていると思われま。

そのために今月から、学習会などでみなさんからた質問を中心に分りやすく説明してゆきたいと思ひます。

(問一) 被差別部落の人たちは大陸から渡ってきた人の子孫ときいているのですが……。

同和問題は、とかく古代の賤民の子孫とか、宗教が違った人とか人種が違つとかでいい伝えられてきました。

しかし、これは学問的に何の根拠もない事のはっきりしています。

正しい起源は江戸時代、時の支配者であった徳川幕府が、自らの地位と権力を維持するために、すべての

人々を士・農・工・商という身分制度でしぼりつけました。

大小三百の大名がそれぞれの藩ごとに、土地と人民をがっちり押さえて、水ももたらね厳しさを固めていました。

世の中が進むにつれて体制の維持が困難となり、さらに低い身分つまり「えた」「ひ人」を政策的につくりあげたのです。

江戸時代、それは私たちにとって想像を絶する身分差別があり、ぜいたくを禁じ、節約をすすめ、服装までこまかく定められました。

こうして作りあげた部落の人々は、生業、結婚、居住、移転、交際など、あらゆる自由を奪われ人間らしい生活ができなかったのです。

同和地区の人々は、異人種でも異民族でもなく疑いもなく日本民族、日本国民であることを、まずしっかりと認識していただきたいと思ひます。

住民異動届は

もうお済みですか！

三月・四月は、入学・就職・転勤などによる住所変更のシーズンです。

高校や大学に入学したり、就職するため親元を離れて下宿や寮に住む場合、また転勤などで住所を他町村に移す時は必ず転出届をしてください。

また、それと同時に転入した日から十四日以内に、新しい住所の市町村役場に転入届を出してください。

その他、転出時に必要なものとして、印鑑・転出先の住所地番・関係者のみ（国民健康保険証）、また、転入時に必要なものとして印鑑・前住所の転出証明書・関係者のみ（国民健康保険証・国民年金手帳）などがありますのでお忘れなく。

犬の登録と注射の

追加実施

先に行った犬の登録と狂犬病予防注射を受けられなかった方は、次の日程で行いますので必ず受けてください。

▽登録料 2,100円

▽注射料 1,400円

▽認印

【日 程 表】

月 日	時 刻	時間	場 所
4月24日(火)	午前	9:00~9:20	大谷公民館前
		9:50~10:30	予子林事業所
		11:00~11:30	岩谷公民館前
	午後	1:00~1:30	宇和川縫製工場前
		2:00~2:30	鹿野川河原

●結核レントゲン検診

月 日	場 所	時 間
5月30日(水)	肱川町公民館	10時~11時30分
5月31日(木)	大谷公民館	10時~14時

●献 血

▽日時 5月30日(水)
▽時間 午前10時~午後2時30分
▽場所 肱川町公民館
※献血した方は、生化学的検査（総蛋白・尿素窒素・コレステロールなど）7種類が無料で行なわれます。

相談ごと案内

●心配ごと相談

▽時間 午前9時~午後4時
▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室

相談日	担当相談員
5月7日(月)	福田 保 藤高エミカ 桜田トシ子
5月15日(火)	森田 充一 兵頭 芳一
5月25日(金)	宮田 義盛 二宮 亀雄

☆相談員の自宅相談も受け付けます。

●行政相談

▽日時 5月7日(月)
午前9時~午後4時
▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室
▽相談員 福田 保委員

5月日曜・祝日当直医

日	当 直 医	電 話
3日(祝)	前田 医院 (五十崎町)	44-2859
5日(祝)	町田 医院 (内子町)	43-0211
6日(日)	藤本 医院 (五十崎町)	44-2561
13日(日)	植木 医院 (五十崎町)	44-2215
20日(日)	高橋 医院 (五十崎町)	44-2010
27日(日)	曾根 医院 (五十崎町)	44-2801

●農地相談

▽日時 5月25日(金)
午前9時~午後4時
▽場所 役場第3会議室
▽担当相談員 北本 登委員
☆農地関係についてお気軽にご相談ください。

郵便局だより

●町づくり役立っている
郵便貯金や簡易保険

郵便局の貯金や簡易保険は広く国民のみなさまにご利用いただいております。教育・結婚・住宅あるいは不時の災害や老後の生活などのために役立っています。一方、みなさまからお預りした郵便貯金や簡易保険の資金は国や地方公共団体などへ融資されており、肱川町に対しても郵便貯金関係が約十一億円、簡易

鯉のぼりによる
感電事故を防ぎましょう
(四国電力鹿野川営業店)

●不用犬回収日

▽日時 5月8日(火)
午前9時まで
▽場所 役場(町民課)
※印鑑をご持参ください。

☆☆☆☆☆
お誕生おめでとう
ございます
☆☆☆☆☆

汗 生 森 吉満さん
二女 さゆりちゃん

上敷水 松田 龍明さん

長男 龍 法ちゃん

大 平 上田 正義さん

長女 めぐみちゃん

★★★★★
ごめいふくを
お祈りいたします
★★★★★

久 保 山本ミユキさん (56歳)

久 保 石谷フジコさん (74歳)